

春の一日巡り

毎年恒例の春の一日巡りが五月十五日バス二台で九十一名の参加を得て行なわれました。まず矢掛本陣を訪ね江戸時代、参勤交代で栄えた本陣の様子を案内の人より聞きました。次に真言宗準別格本山正覚院にお参りしました。庭には立派な松が何本も有り、ちよと庭師さんが手入れをされていました。松の維持費として檀家から年二千円を集めているとの事でした。裏山には四国八十八ヶ所のミニ霊場が作られ、又、会館が建てられていて一階では色々な会合が行なわれ、二階には住職さんが各地で集めた玩具とか檀家にあつた古い物とかが一同に展示されていました。つづいて嫁いらず観音を訪ねました。朝日寺からは三回目の訪問でしたが、訪ねる度に寺や周囲が整ったので、ごはつこうがうかがえました。最後に田中美術館に寄り、井原の偉人で百八歳でなくなった平くし田中の作品に接し、今にも動きだしそうな肉感あふれる写実性にびつくりしました。

秋遍路駄句の旅

福谷 山田 栄

今年は何年にもない異常気象で蟬の声も余り聞かない内、はや秋も半ばとなり亡妻供養の伊予の遍路も愈々近づいて参りました。親戚の内田さんから「本年は是非お参りして亡夫の嘗てお砂集めの寺々で在りし日を忍び供養がしたい。」とお話に行方を約束し、又、それに加えて今秋は三浦副総代長が参加せられるとの噂に、私は嘗て十余年前問口新田土地改良にあたり、当時町の産業課長であった三浦さんに非常にお世話になり成功させる事が出来ました。此の機に現況報告やら思い出

話も出来るよ此の日を楽しみにして居りました。愈々その日が明日に迫りました。優しい嫁は数日前より毎夜寸暇をさいて白衣にアイロンをあてたり、下着から着用の服、紙、ハンカチに至る迄きちんと準備して呉れ、靴には酒、ビール、

様のお蔭を十分頂戴致しました。是は秘密ですが私は亡妻の写真を前々からお納札入の靴の裏に差込んでおりました。靴は皆様大抵肩から左脇に掛けて居られましたが、私は終始首に掛け胸に抱いて行きました。生者必滅・会者常離は現世の掟と知りながら



京屋旅館にて

それに色々な菓子果物迄、お接待出来る程入れて呉れ枕元に整え「お父さん明朝五時にはきつと起こしますから、起床時間気にせず早くお休みなさい。」との心遣い又吾が家から集合地迄は部落総代が予め車の手配をして呉れて居り、私はお参りの前からお大師

私は未だ悟り切れず家を出る時「現世の妻と一緒にあつたら」と不覚の涙を落としました。亡妻とは戦中戦後苦楽を共にした仲と言えは聞こえはよいが苦勞は大方女の方で特に私は妻の名をまともに呼んだ覚えは有りません。大抵「おい」「こら」でした。そんな妻

が生前こんな歌を詠んで居りました。「来し方は想い起こして言う事も無し未知数の日々を夫の為に」と。バスは岡山の名を拾い満杯となり一路四国へと走ります。瀬戸大橋の眺望もあいにくの雨でまるでボカシ墨絵を見る様です。車中は島岡総代長の例のユーモア交りの名挨拶に和気は一層増し、僧正の何とも言えぬ「さび」のある馴れた読経に流石と感心し、私は奥様の鈴の美声にうっとりとし、つい唱和を忘れてしまいました。皆さんは旅の安全祈念の唱和とあつて力が入って居りました。

(各寺々で)

- 苔杉を伝う時雨や大宝寺
- 遺影抱き登れば時雨の岩屋寺
- 木犀の何処ともなし八坂寺
- 大蘇鉄濡らす時雨や浄瑠璃寺
- 秋風の草鞋吹く西林寺
- 霜月を一人の子規の浄土寺
- 石手寺や湯客賑う秋の暮
- 月の夜の鳴く虫の句碑太山寺
- 秋雨に濡る、マリヤや円明寺
- 挽鐘を掲げば秋雲急ぎけり(延命寺)
- 秋雨の南光坊や杖の鈴
- 秋風や仁王間借りの泰山寺
- 秋空に水軍幡や榮福寺
- 今治の眼下に時雨の仙遊寺
- 遠峰に時雨去り行く国分寺
- 台風の後追う雲や香園寺
- 宝寿寺や紅葉桜の一二本
- 銀杏の実拾う女あり前神寺
- 立ち登る霧雲となる横峰寺
- 秋遍路搗く鐘絶えぬ三角寺
- 秋の陽を覆う楠樹や観音寺
- ゴンドラの秋の峰行く雲辺寺
- 夕焼や鳩帰るゆく大興寺
- コスモスのうつむきゆるや寺の鐘

(本山寺)

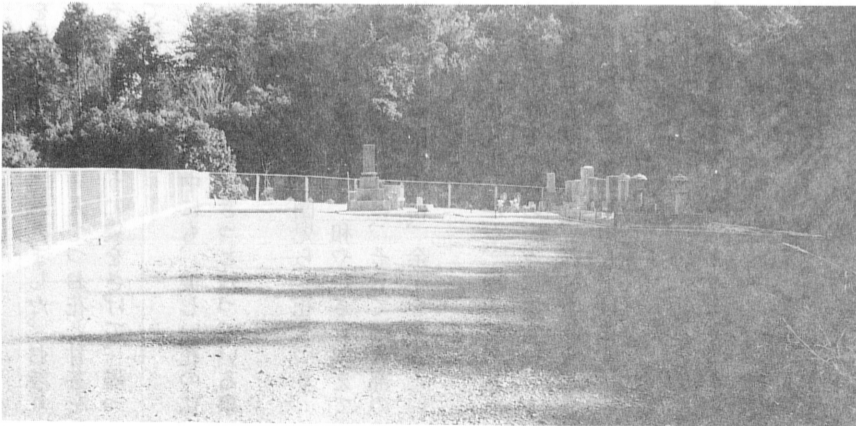
この度の遍路は初めの二日は雨でしたが時雨程度で大した事なく、第三日は絶好の秋日和に恵まれ、終り良ければ総てよし、特に帰途の大橋で眺めた瀬戸の夕陽は実に美しかった。かつて北満で眺めた広野の夕陽、比島のマ

ニラ湾で見た灼熱の夕陽、それに劣らぬ此の夕陽、之も大師より賜ったお蔭と思えます。ここに念願の伊予の遍路を終え、始終先達となつて吾々を導いて下さつた僧正御夫婦、一方ならぬ御苦勞掛けた総代の皆様、親切にして頂いた友の方々、運転手さんガイドさんに厚く御礼申し上げます。

合掌

新墓地完成

旧墓地の南に造成が進められていた新墓地が完成いたしました。一区画3メートル×2.5メートルの七・五平米で永代使用料四十五万円、年間管理料三千六百円です。乗用車で墓地内まで乗り入れられ、寺を正面に望み、路線バスにてもお参り出来る新墓地をお求め下さい。尚、坂本石材店が指定業者です。



総代会役員

- 大土井 児玉正一 山本清四郎
- 高助 市守用二
- 庄田 三浦謹次 ○森下 繁
- 渡内 千種司郎
- 西部 川野 弘 森部国夫
- 市場 ○島岡 篤 藤本太郎
- 中東 川野澄男 坂口鶴一
- 大東 松井金次郎 心光正美
- 敷井 川野健郎 川野 重
- 下寺 久本太郎 内田稲生
- 問口 山田克己
- 前泊 内田雄大
- 虫明 山根俊雄
- 尾張 種草立司 松下 隆

○総代長 ○副総代長

密教婦人会役員

- 大土井 児玉英子 山本昭子
- 高助 吉田五月
- 庄田 △三浦敏子 種草幸代
- 渡内 近藤美佐子
- 西部 ○松井時香 谷美代子
- 市場 中井ユキエ ○小野田政子
- 中東 横山 栄 西岡 都
- 大東 川野美和子 木下芳江
- 敷井 川野三子 川野 緑
- 下寺 内田千代香 今吉八千代
- 問口 ○内田早苗
- 前泊 久本和子
- 尾張 内田耕恵
- 尾張 今吉君子 木村久栄

○会長 ○副会長 △会計

